



2017・9・11

第 283 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 安倍9条改憲NO！国民的世論の盛り上げを

### 「全国市民アクション」発足

安倍内閣・自民党が来年の通常国会における発議をめざす改憲の企てを阻止しようと、9月8日、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が発足しました。九条の会からは呼びかけ人の梅原猛さん、澤地久枝さん、世話人の田中優子さんら19人が発起人に名を連ねています。また、九条の会も組織として参加団体となることとしました。

8日のキックオフ集会では、市民アクションとして、①「安倍9条改憲」に反対する全国3000万署名の展開、②全国各地の市民、諸団体による大小の集会や街頭キャンペーン、③さまざまなツールを利用した宣伝やグッズなどの製作、配布、④新聞への意見広告の掲載、⑤これらのための募金、などを確認しました。

★3000万署名のヒナ型は九条の会ホームページにアップしてあります。

**安倍9条改憲を阻むために全国の九条の会は立ち上がりましょう**

2017年9月7日 九条の会事務局

安倍首相は、日本国憲法施行70周年の5月3日、あえて挑戦するように新たな改憲

### 安倍9条改憲をとめよう！ 全国交流・討論集会のご案内

自民党の改憲案作成の作業がいよいよ本格化するなかで、九条の会事務局は、下記のように「安倍9条改憲をとめよう！全国交流・討論集会」を開催します。参加される方は、事務局に登録をお願いします。

◇日時 10月8日（日）

午後1時00分～4時30分

◇特別報告 「9条加憲のねらいと問題点」 一橋大名誉教授 山内敏弘

◇参加費 1000円

◇会場 東京文京区・文京区民センター  
九条の会 事務局

の提言を行いました。今回の安倍改憲は、9条1項、2項を残しながら、新たに自衛隊保持を憲法に明記することで、9条を根本的に変質させ日本を「戦争する国」に転換しようという重大なねらいをもっています。森友、加計学園にみられる行政の私物化、自衛隊日報隠し、共謀罪法案の強行採決などどまることを知らない悪政に対する怒りが噴出し、都議会議員選挙で安倍自民党

は大敗し、その後も安倍政権は支持率の低下が続いていますが、首相は改憲を強行する決意を変えていません。憲法と日本の進路は今、戦後最大の岐路を迎えています。

安倍改憲を広範な共同で阻もうと、総がかり行動実行委員会をさらに広げ、19名の発起人の訴えに基づき「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が発足し、3000万署名を軸に安倍改憲を阻む行動が呼びかけられています。

九条の会は、結成以来憲法を改変するさまざまな企てに反対する行動の先頭に立ってがんばってきましたが、共同の行動のよびかけに名前を連ねることは控えてきました。9人のよびかけで発足した九条の会の役割は、あくまで全国7000余にのぼる九条の会の交流や連絡調整に当たることにあり、その多様な活動を縛ることは避けたいという思いからでした。

しかし、安倍改憲の企てを阻むことは、2004年に九条の会が出発したそもそもの目的にほかなりません。そこで、会事務局は、よびかけ人と世話人の了解もいただいて、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」に組織として参加し、他団体と協力して活動する決断をしました。安倍改憲を阻むため、全国市民アクションの一員として全力をあげる決意です。

この重大な局面に立って、安倍改憲を阻む大きな共同の闘いを起こすため、全国の九条の会みなさんに、以下の3つの行動に立ち上がることを訴えます。

1 すべての会が、学習会を持ち、市民とともに、安倍9条改憲の危険性を改めて確認しましょう。

2 全国市民アクションが掲げる3000万署名を達成するために、会毎に目標をたて、戦争法廃止2000万署名の経験を生かしながら、全国津々浦々の草の根で宣伝と対話を広げ署名の輪を広げましょう。

3 それぞれの地域で他団体と協力し合って市民アクションを立ちあげ、安倍改憲阻止のための市民アクションの取り組みに積極的に参加し、共同の輪を広げましょう。

## 「正念場」の会の運動を交流

【岐阜県／九条の会岐阜連絡会】 安倍改憲を絶対に阻止しよう」と岐阜県各地の九条の会が交流する「安倍改憲阻止大集会」が9月2日、各務原市で開かれ、会場いっぱい400人が参加しました。主催は九条の会岐阜連絡会。

各務原・九条の会の原田實代表があいさつ。「安倍首相は、森友・加計問題で信用を失い、アベノミクスで崖っぷちに立たされている。小手先の内閣改造ではい上がらせてはならない。安倍内閣打倒の運動を強めていこう」と訴えました。

一橋大学の渡辺治名誉教授が「安倍改憲を阻止する国民運動を～9条加憲は戦争への道」と題して講演。安倍政の改憲に向けた動きや都議選の結果の分析を報告し、「安倍政権は改憲を諦めていない。改憲を阻むかってない共同を急いでつくりあげよう」と強調。「憲法に9条に自衛隊を書き込む『9条加憲』は『戦争への道』であり、『九条の会』にとって正念場である」と述べました。

参加者からは北朝鮮の動き、野党統一候補の実現、新潟の参院選、知事選勝利の教訓など多彩な質問や意見が出されました。

60代の男性は「安倍政権を倒すため、かつてない市民の共同の提起に心が動いた」と語りました。

集会後、「9条壊すな」のパネルを掲げて市内をデモ行進。「9条加憲は許さないぞ」「みんなの力で改憲を止めよう」と力強くコールしました。

## 地域内を各戸訪問し署名訴え

### 【前橋市桂萱地域／かいがや九条の会】

前橋市の「かいがや9条の会」は8月29日、97回目の憲法9条守れの署名行動に取り組みました。

参加者は4組に分かれ、桂萱（かいがや）東部の県営団地で一戸一戸訪ねました。訪問先では北朝鮮のミサイル発射が話題になり、「9条をいかした交渉が大事なのではないのでしょうか」との訴えに、「そうだね」と署名に応じる人がいました。

同会の飯田至弘事務局長は「桂萱全域を訪問しきろうと、9年前から署名行動に頑張ってきました。来月からは残る4町の訪問に取り組み、『安倍改憲』を許さない『草の根』の対話行動を広げていきたい」と話しています。

## 安倍9条改憲の狙い明らかに

### 【岩手県／いわて女性・九条の会】

いわて女性・九条の会は2日、盛岡市で結成12周年記念講演会を開きました。青井未帆氏（学習院大学教授・立憲デモクラシーの会）が講演し、予想を上回る140人が参加しました。

主催者あいさつで伊藤慶子事務局長は「安倍首相は都議選で惨敗しても改憲をあ

きらめず、軍事費も増やし続けている。憲法9条に自衛隊を書き込む狙いを見破り、阻止する運動を広げよう」と訴えました。

青井氏は、北朝鮮の弾道ミサイル発射で日本政府やマスコミは危機をあおっているが冷静な議論が必要だと指摘。日本からの先制攻撃は国際法違反であり、「殺さない、殺させない」が憲法9条の出発点だったこと忘れてはいけないと強調しました。

憲法9条に自衛隊が明記されてしまえば、その後には「戦争できる国」への、さらなる改悪が待っていると警告。市民が連帯し、自民党改憲案の国会発議をやめさせようと語りました。

参加者からは「安倍改憲と『教育勅語』との関係は？」などの質問が出され、青井氏がていねいに答えました。

## 暮らしの中の憲法めぐりシンポ

### 【秋田県能代市／能代まちなか九条の会】

能代まちなか九条の会は8月26日、能代市で「暮らし」「労働」「宗教」をテーマに「憲法シンポジウム」を開きました。

憲法を変えようとする動きが激しくなっているなか、国民の中に憲法がどう生かされてきたのかを今一度考えようとする取り組みられたもの。能代生活と健康を守る会の松山正一事務局長、能代山本地域労連の北川智彦議長、元住職で「秋田宗教者九条の和」の藤井慶昭さんが報告しました。

松山事務局長は憲法13条（個人の尊重、幸福追求権、公共の福祉）にふれ、「フリーター、ニート、ワーキングプア」など格差と貧困を表現する言葉が横行する実態を指摘。

北川議長は憲法と労働者保護、ILO（国際労働機関）条約・勧告の批准状況などドイツと比較し、過労死ラインを超える長時間労働を日本政府が認めるなど労働条件悪化の現状を報告しました。

藤井さんは、戦前、天皇制の下で国民を戦争に駆り立てた反省の上に、思想や宗教の自由を保障した憲法で現在の宗教が成り立っていることを説明しました。

## スタンディング2年を振り返る

【岡山県津山市／津山九条の会】 椿高下の交差点をはじめ、因美線沿いの綾部でもこの2年間、朝7時～8時にスタンディングを続けている、田口さん、石川さん、藤原さん、須田さん。この活動を続けてきているんなことがあったでしょう。

一同 あるある！車から手を振ったり、クラクションを鳴らしてくれること。「お、手を振ってくれたで」と一番早く見つけるのが藤原さん。子どもが大きな声で挨拶をしてくれたり、時が経つと大きくなっていく子どもの姿が見れること。休耕田に一面に咲くコスモスやひまわりが、頭の上の電線でカラスやスズメまでが賑やかに励ましてくれること。

「おばちゃん、根性あるなあ」と応援してもらったこと。入院した時、知り合いの看護師さんが「おじちゃん、暑い時も寒い時もよう頑張りよんじゃなあ」と励ましてくれたこと。集団登校の子が1人少ないと「どうしたん？」と理由を訊ねたり。

失敗もありました。スタンディングの場所に着いたら車に乗せていた横断幕が無い！慌てて探し回っていたら、道ベりのの

り面に誰かがまさに掲示するように広げてくれていた。恥かしいやらありがたいやら。（「津山九条の会」67号の座談会からの抜粋）

## 音楽や朗読通じ平和を考える

### 【京都市左京区／修学院学区九条の会】

8月27日、九条をかえさせない修学院の集い：「演奏と絵本の映像と朗読」が上一乗寺集会所で催されました。カンカン照りのなか34名の方々が参加してくださいました。

まず生協9条の会関係者の音楽グループ「ヴィスターズ」によるマンドリンの伴奏で、平和をテーマにした曲を演奏していただきました。聞くだけでなく、皆久しぶりに大きな声で合唱もしました。独唱された方の声もよかったのか、ゆっくりと歌詞を味わいながら聞いているとほろっと涙が出てきました。

続いて「だれのこどももころさせない（文は西郷南海子 絵は浜田桂子）」の絵本の朗読でした。この絵本は安保関連法案に反対する「ママの会」コールから生まれたものです。出版社から取り寄せた映像を味わい深く見ながら、朗読を聞きました。また、かもがわ出版の絵本の読み聞かせとトーク会（プラス原画展）に参加した岡根知子さんから絵本作家の浜田さんのお話を思い出せる限り思い出して話してもらいました。

学習だけでなく、夏を子供と楽しみたいと思い企画しました。隅っこで大人のしていることをじっと待っていてくれた子供さんに感謝しつつ終わりました。

（池田千恵 「九条の会修学院学区つうしん」No76からの抜粋）